

平成 2 1 年 2 月

[配布先：全組合員]

市 場 情 報

<各地区市場動向>

東 北

日差しは遠く

仙台地区では、積雪が少なく助かっていますが、冷え込みの厳しい日の朝は路面のアイスバーンに注意が必要です。

東北地区も昨年末以降 冷え込んだままの状況です。ゼネコンでは多少、手持ち物件は有るものの、発注は材料の先安感からか様子を見ている状態で今すぐ発注されそうに無い。

シヤ一の稼働は、大手では契約残で何とか凌いでいるが、スポット受注中心の中小では50%を下回っています。国内の経済環境はすぐには回復しそうには無く、ただ静かに耐えていくしかないのだろうか。

一日でも早く日差しが射して頂きたいと、願うばかりです。

(J F E 鋼材・湊和志)

東 海

心 を 込 め て

秋口より急速に受注が落ち込んでいます。

受注は昨年9月まで、販売は10月まで良かっただけに、扱い量が急速に変化し厳しい状況が続いています。このため、08年12月の月次販売実績では、弊社在庫率が半年分以上になってしまいました。

仕入れメーカーにもご理解を頂き、1～3月の新規申込については、在庫調整の為なるべく少なくさせてもらっております。

販売量も横ばいでいければよしとしなければいけない状況です。

この先、エンドユーザー側の状況を把握し厚板メーカー、商社、特約店との連帯を密にし、

同業者間でバランスを取りながら、不況のなか商売を続けていけるよう努力していきたいと思えます。

様々な製品の中には、安かろう、悪かろう、安いから仕方ないというものもあります。しかし厚板シャリング工業には、そんな考え方の製品は絶対はない！と誇りを持って商売していきたい。

どの会社にも、今日まで自助努力で築いてきた製品に対する価値というものが必ずあると思えます。高値を押し通すつもりは全くございませんが、捨て身で勝負することのないよう、心を込めて製品を送り出すという気持ちを忘れずにいたいと思えます。

(アカシ・加藤純也)

市場委員会の次回開催予定

第140回市場委員会

3月6日（金）午前11時～

於 名古屋・中部鋼板(株)見学